

6月
17日
聖徒伝 227

絶望が導く 主の平安

エレミヤ書 6章 神の怒り 主の裁き

アウトライン

0. イントロダクション

I. 神の怒り 6:1～15

II. 拒絶の結果 6:16～30

III. まとめと適用

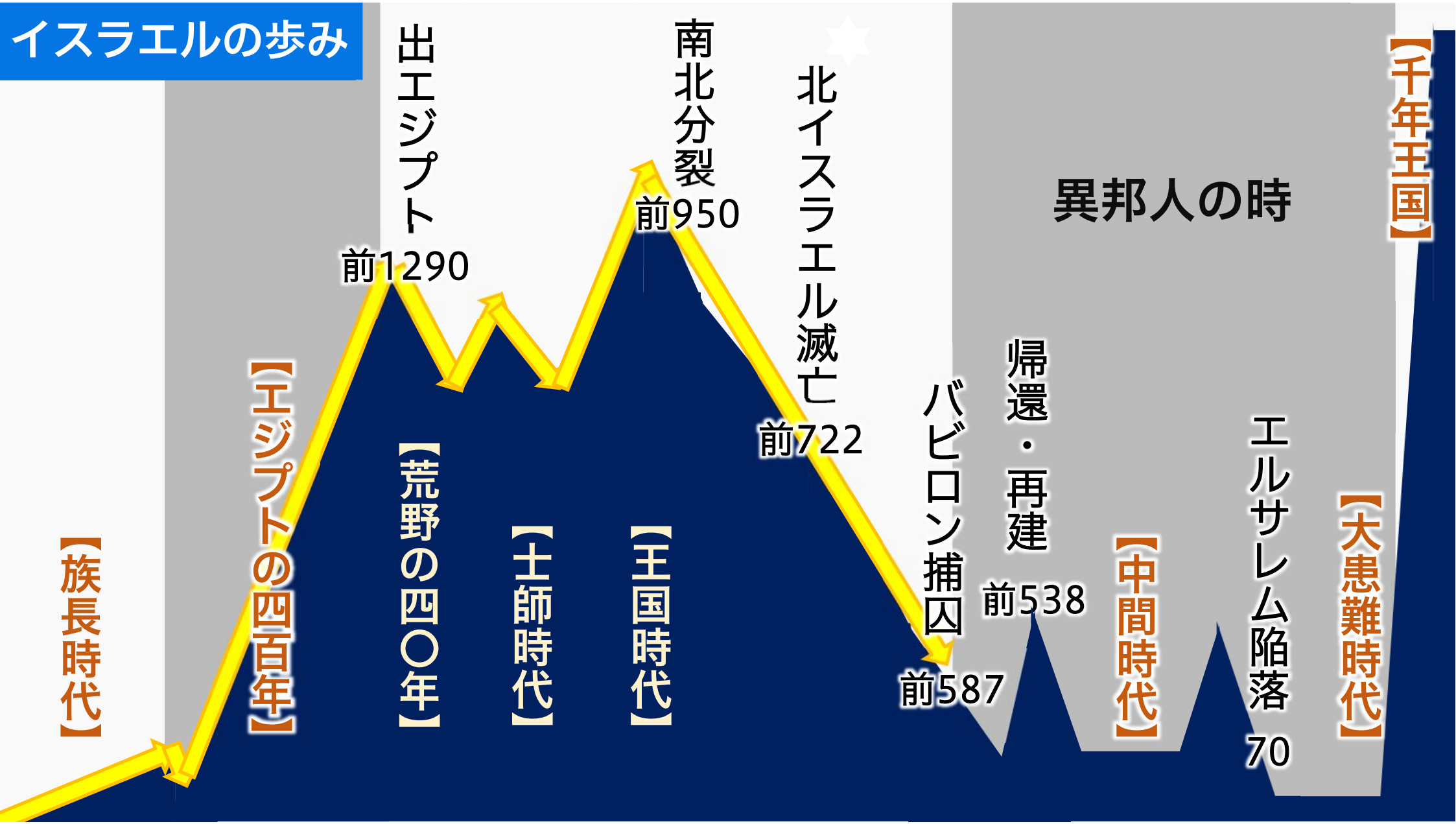
絶望を経て至る、
主の救いと平安



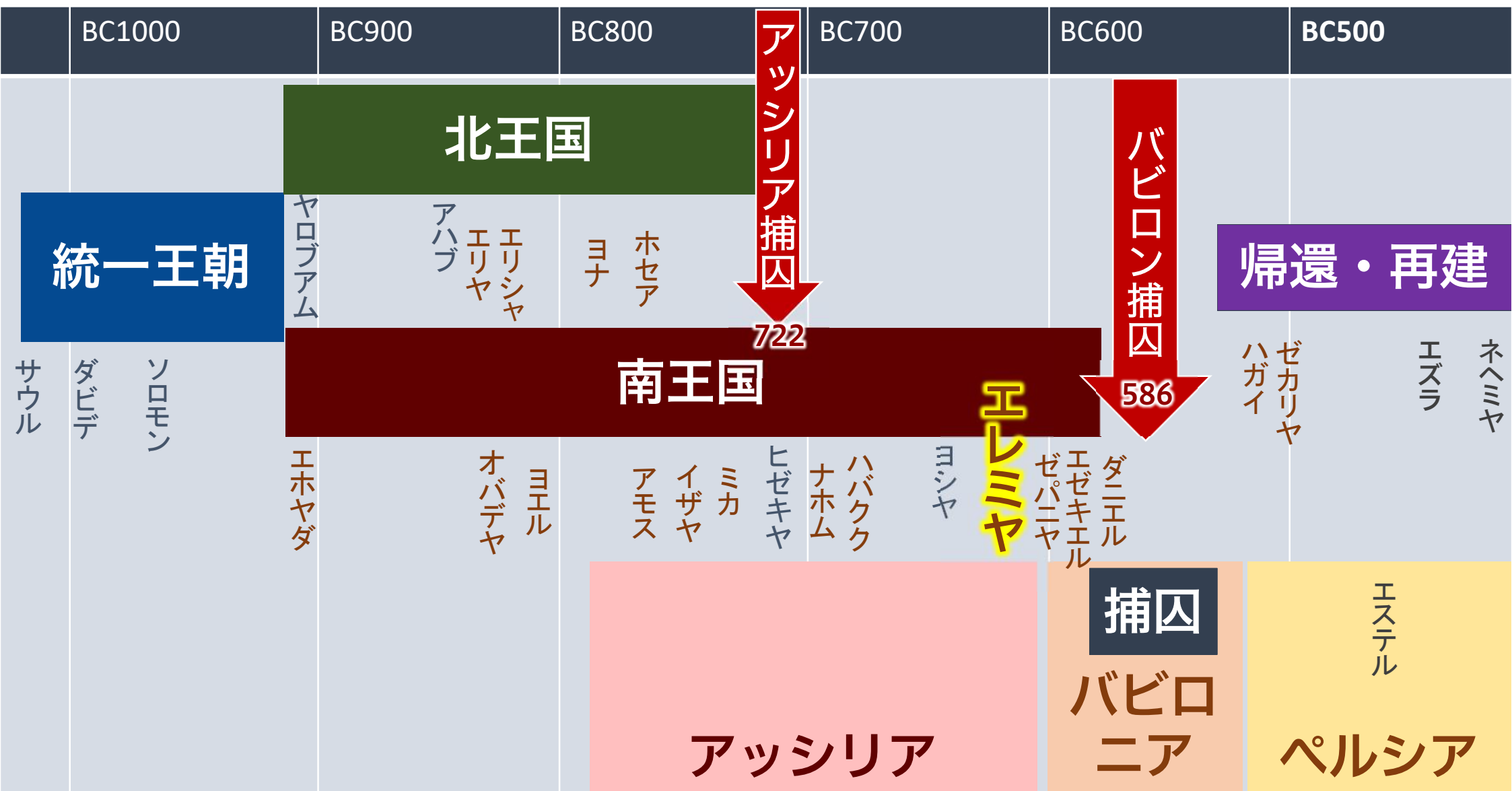


0. イントロダクション

イスラエルの歩み



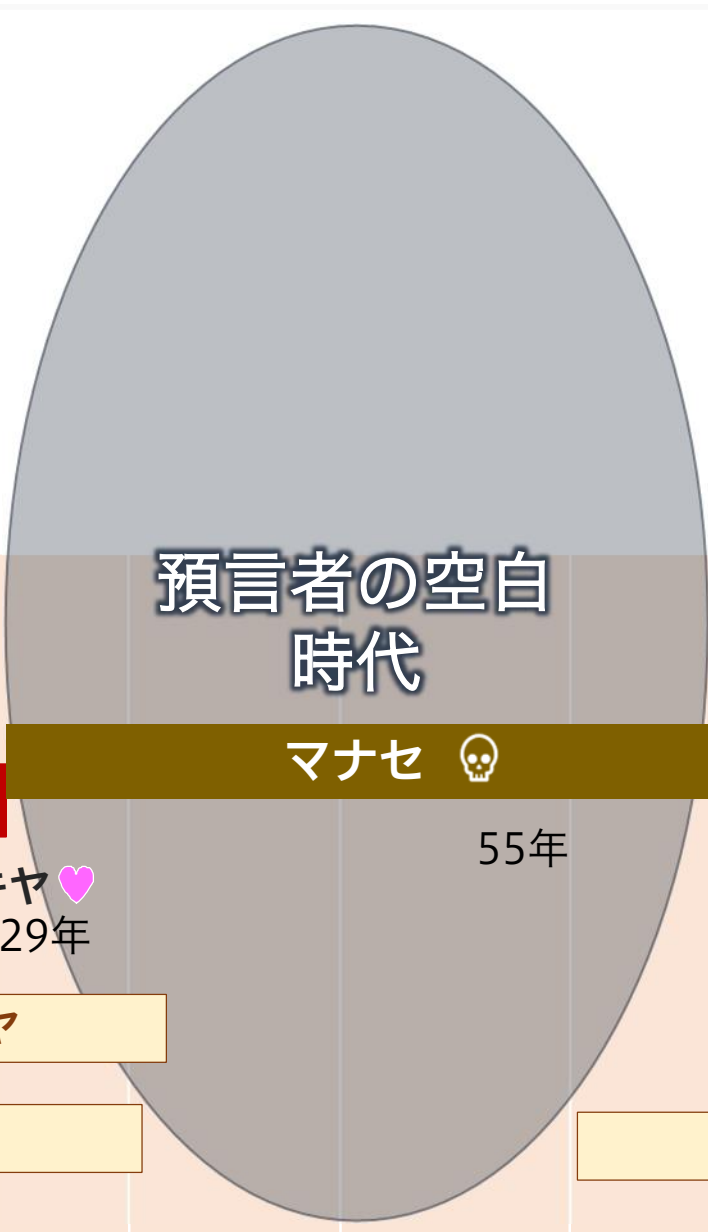
イスラエル王国史



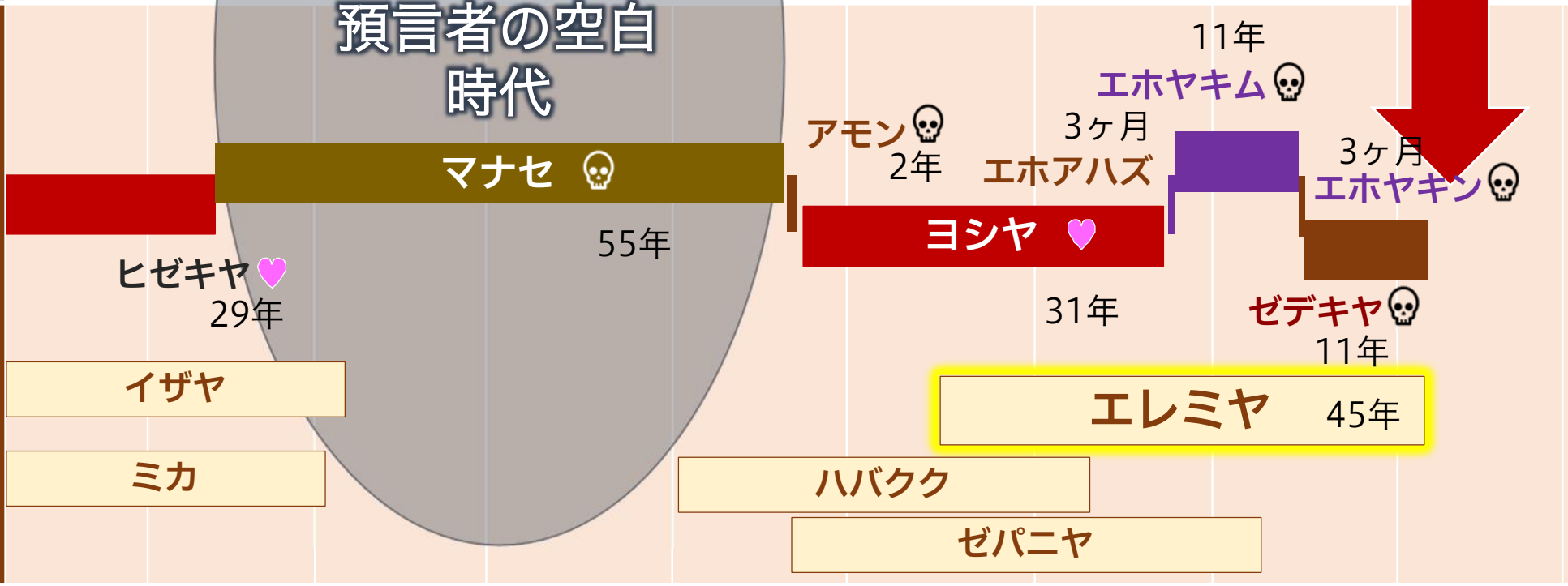
北王国
イスラエル

アッシリア捕囚
BC722年

南王国
ユダ



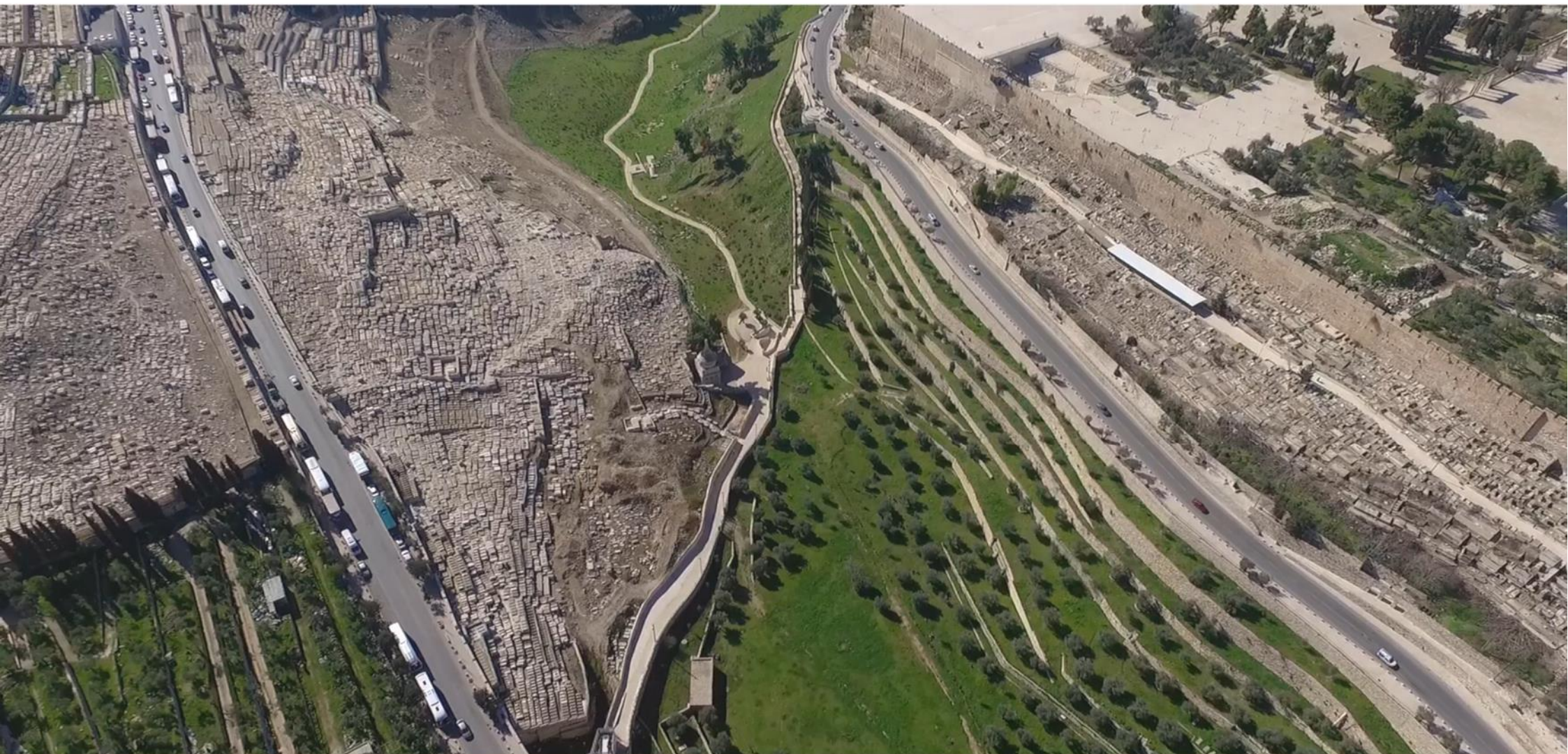
バビロン捕囚



エレミヤが召命された時代

- 最悪の王マナセの暴虐の結果、荒れ果てていた南王国。
- 次代のヨシヤは、最後の善王。宗教改革を実施。
→ 南王国の滅亡は確定。覆すことはできない。
- ヨシヤ王の死後は、めまぐるしく王が入れ替わり、ついにバビロニアの侵略、滅亡 → **バビロン捕囚**

避けがたい神の裁きを伝えることが、エレミヤの使命



I. 神の怒り エレミヤ6:1~15 第1~5連

エルサレム

第一連 北から来る破壊 エレミヤ6:1

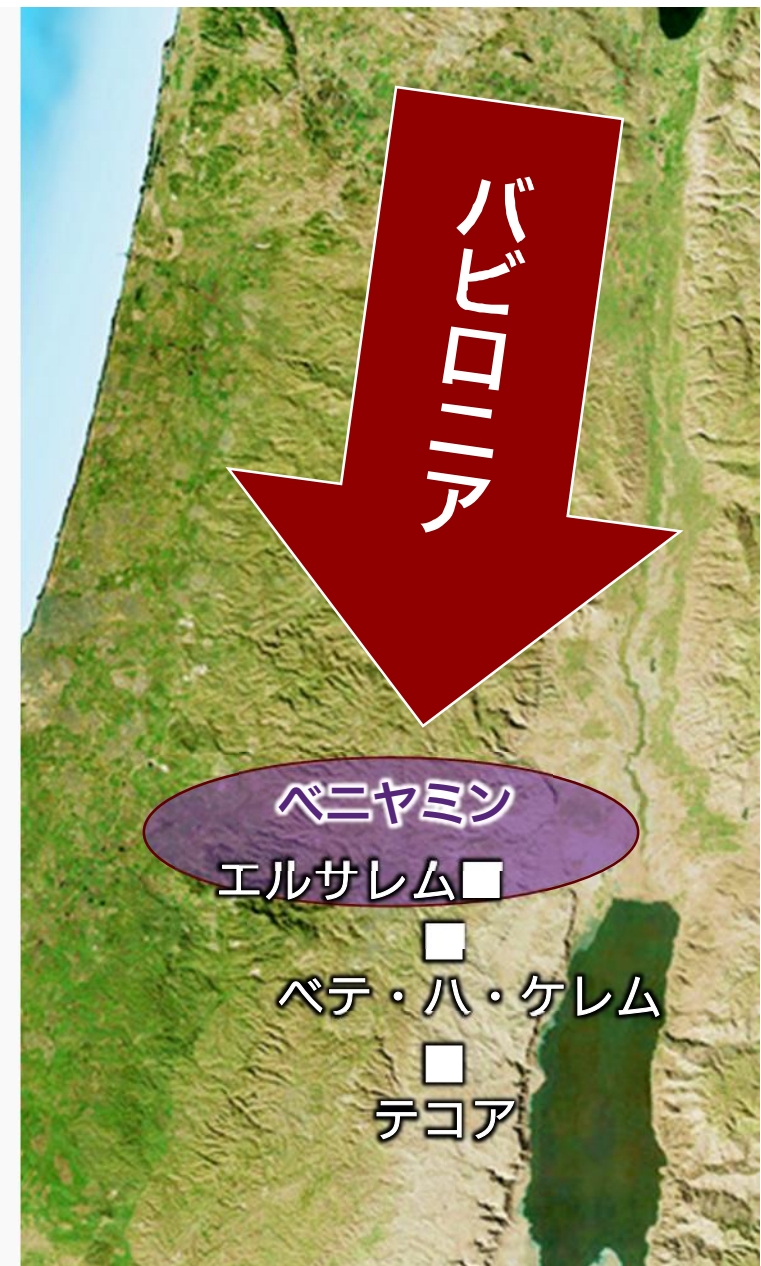
ベニヤミン*の子らよ、エルサレムの中から逃れ出よ。テコア*で角笛を吹き、ベテ・ハ・ケレム*でのろしを上げよ。わざわざ北から見下ろしているからだ。大いなる破壊が。

*ベニヤミン族の領地は、南王国の北端。
北王国は滅亡。次はバビロニアが侵略。

➡領地を捨てて、南に逃げよ!!

*エルサレムの南20km。アモスの故郷。

*エルサレムから谷を隔てて南2 km。



第一連 シオン丘 エレミヤ6:2~3

娘シオン*よ、おまえは麗しい牧場にたとえられるではないか。

そこに羊飼いたち*は自分の群れを連れて行き、その周りに天幕を張り、群れの羊は、それぞれ自分の草を食べる。

*元々は、エルサレム町のある丘の名称

➡エルサレムの都をも指すように

*エルサレムにいる指導者たち。羊は民。



第一連 巨大な敵 エレミヤ6:4~5

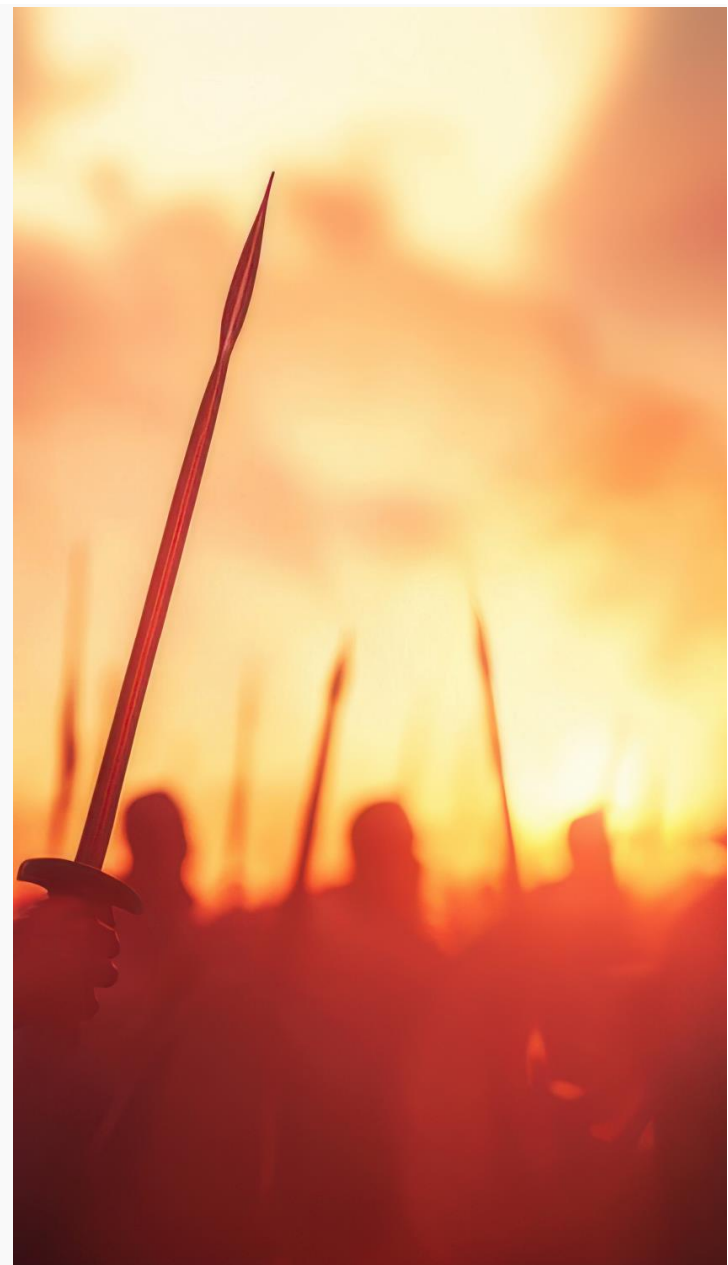
「シオンに向かって聖戦を布告せよ。立て。われわれは真昼に上ろう*。」 「ああ、残念だ。日が傾いた。夕日の影が伸びてきた。」

「立て。われわれは夜の間に乗って、その宮殿を滅ぼそう。」

*真昼に堂々と攻め上ってくる敵の大軍勢。

➡遠征から即、攻撃。圧倒的な軍事力

■裁きの器である敵は、時を待たずに来る。



第二連 罰せられる都 エレミヤ6:6

まことに、万軍の【主】はこう言われる。
「木を切って、エルサレムに向かって壘を築
け。これは罰せられる都。その中には**虐げだ
けがある***。」

*偶像礼拝 →欲望のままに振る舞う支配者
→貧富の格差 →民衆の搾取、虐待

敵の軍勢を動かされるのは、主



第二連 懲らしめを受けよ エレミヤ6:7~8

井戸が水を湧き出させるように、エルサレムは自分の悪を湧き出させた*。暴虐と暴行がその中に聞こえる。病と打ち傷がいつもわたしの前にある。

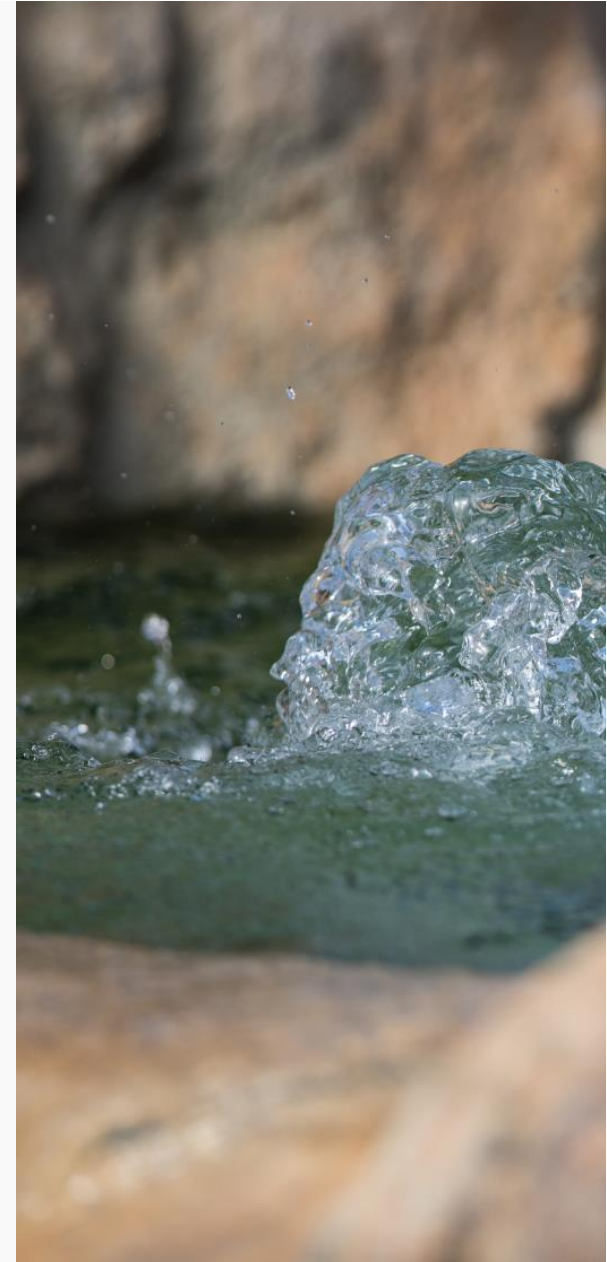
エルサレムよ、懲らしめを受けよ*。そうでないと、わたしの心はおまえから離れ、おまえを、人も住まない荒れ果てた地とする。」

*ギホンの泉が、都を潤していたが…

➡悪が湧き出る都に!!

*もはや裁きは避けられない。

託された宣告は➡「甘んじて神の裁きを受けよ」



第三連 摘み取られる残りの者 エレ6:9

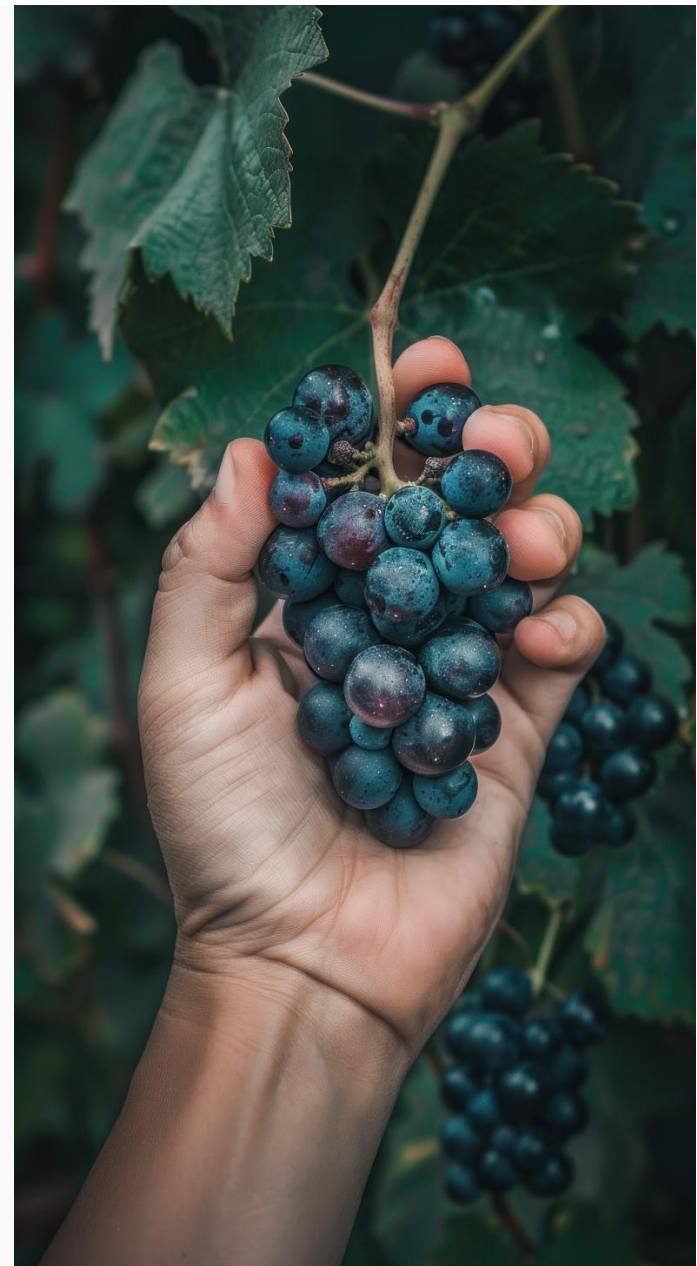
万軍の【主】はこう言われる。「ぶどうの残りを摘むように、イスラエルの残りの者をすっかり摘み取れ*。ぶどうを収穫する者のように、あなたの手をもう一度、その枝に伸ばせ。」

*北王国は、すでにアッシリアに摘み取られた。

残った南王国も、バビロニアに摘み取られる。

■摘み残したブドウをとるな(申24:21)と、律法には弱者救済の規定があるが…。

➡ここでは「摘み取れ」 神の裁きの非情さ



第四連 聞く耳もない者 エレ6:10~11

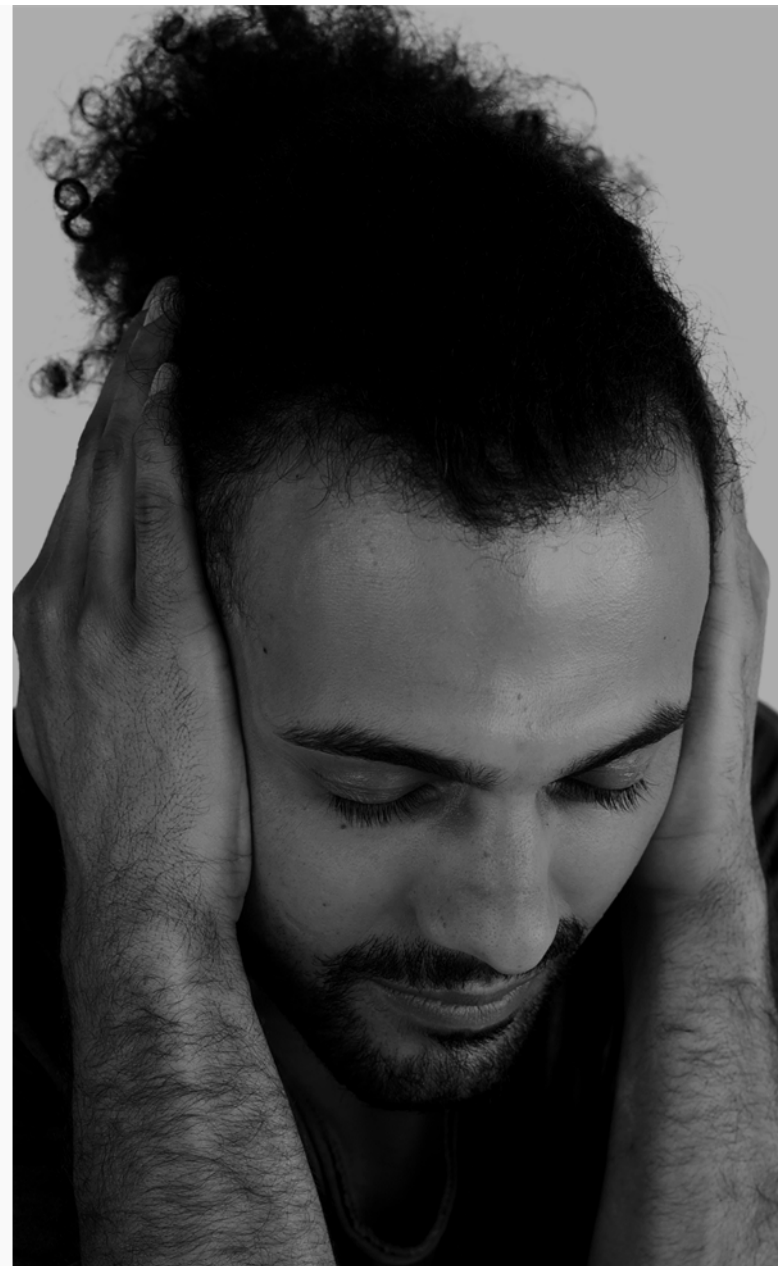
私はだれに語りかけ、だれを諭して聞かせようか。見よ。彼らの耳は閉じたまま*で、聞くこともできない。見よ。【主】のことばは彼らにとって、そしりの的となっている。彼らはそれを喜ばない。

【主】の憤りで私は満たされ*、これを収めておくのに耐えられない。

*“耳が割礼を受けていない”

➡主に聞く耳を持たない形ばかりの信仰

*主の怒りを民に伝えるのがエレミヤの使命



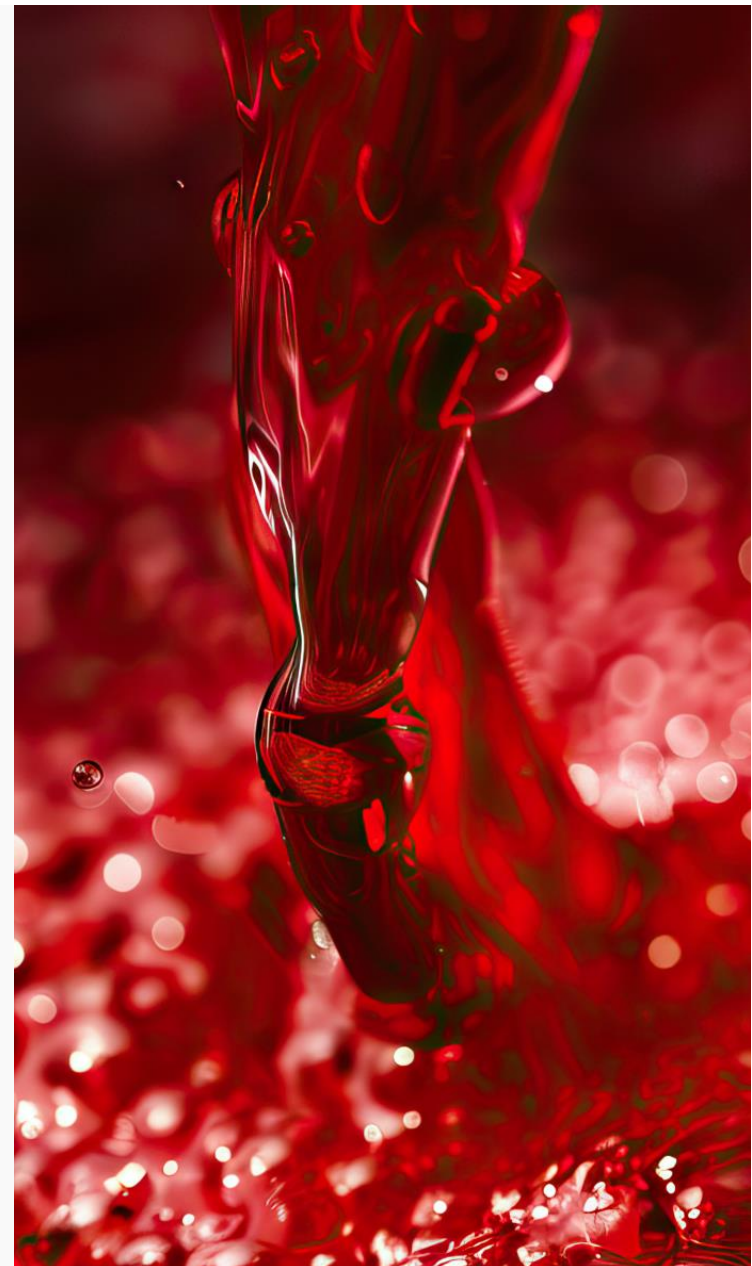
第五連 神の怒りが注ぐ エレミヤ6：11

「**それ***を、道端にいる幼子の上にも、若い男がたむろする上にも、**注ぎ**出せ。夫はその妻とともに、年寄りも齡の満ちた者も、ともに捕らえられる。」

*神の怒り

■世の終わりの不信仰者に対する主の裁き

「黙示録 14:10 その者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた、**神の憤りのぶどう酒***を飲み、聖なる御使いたちと子羊の前で火と硫黄によって苦しめられる。」

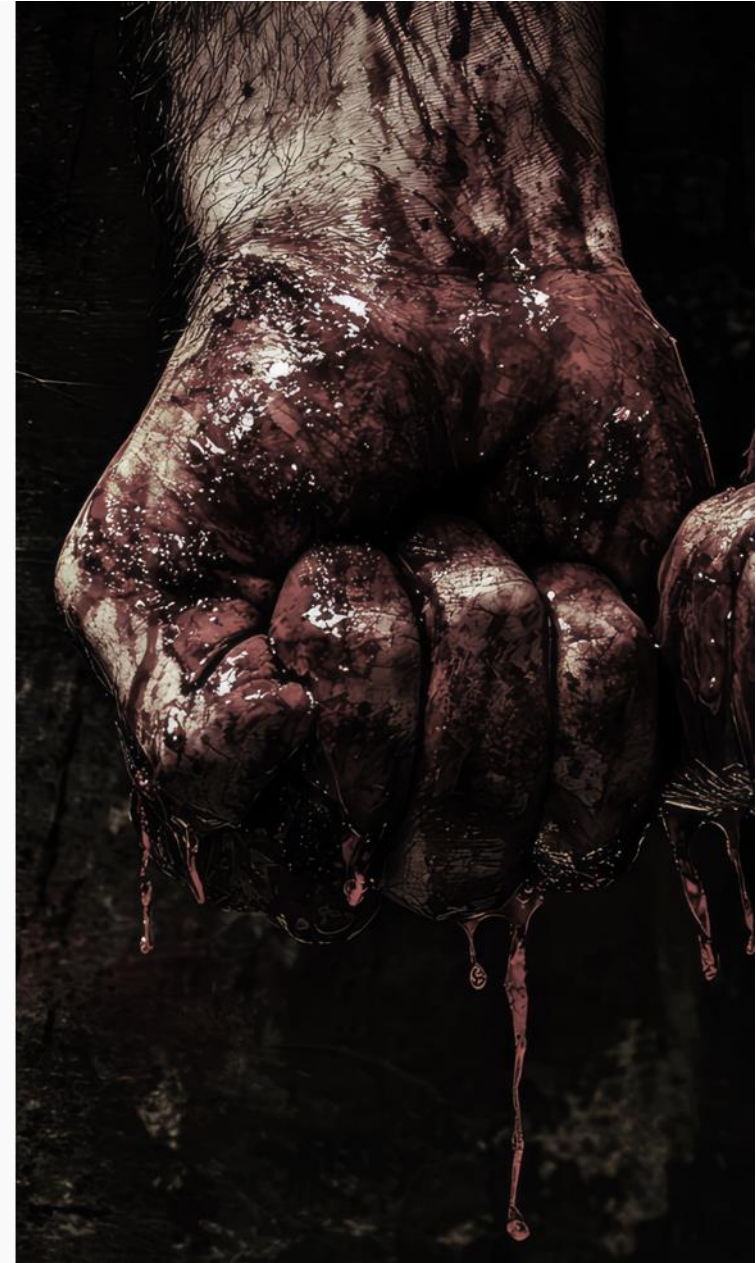


第五連 主による強奪 エレミヤ6:12～13

彼らの家は、畑や妻もろとも、他人の手に渡る。わたしがこの地の住民に手を伸ばすからだ。——【主】のことば——

なぜなら、身分の低い者から高い者まで、みな利得を貪り、預言者から祭司に至るまで、みな偽りを行っているからだ。

- 身分や地位に関わらず、指導者たちまでも主に逆らっており、裁きを免れる道はない。



第五連 偽預言者の末路 エレミヤ6:14~15

彼ら*はわたしの民の傷をいいかげんに癒やし、平安がないのに、『平安だ、平安だ』と言っている。

彼らは忌み嫌うべきことをして、恥を見たか。全く恥じもせず、辱めが何であるかも知らない。だから彼ら*は、倒れる者の中に倒れ、自分の刑罰の時に、よろめき倒れる。—【主】は言われる。」

- 神の裁きを曲げ、偽りの平安を告げる、
偽預言者や偽教師たち*は、厳しく裁かれる。





II. 拒絶の結果

エレミヤ6:16～30 第6～9連

エルサレム・ヤッファ門

第六連 分かれ道 エレミヤ6:16

【主】はこう言われる。「道の分かれ目に立って見渡せ。いにしえからの通り道、幸いの道はどれであるかを尋ね、それに歩いて、たましいに安らぎを見出せ。彼らは『私たちは歩まない』と言った。」

■正しい道は、律法によって示されており、預言者たちも、再三立ち返りを促した。

➡それでも拒み通した結果、
避けがたい神の裁きが下される



第六連 無視された警告 エレ6:17~18

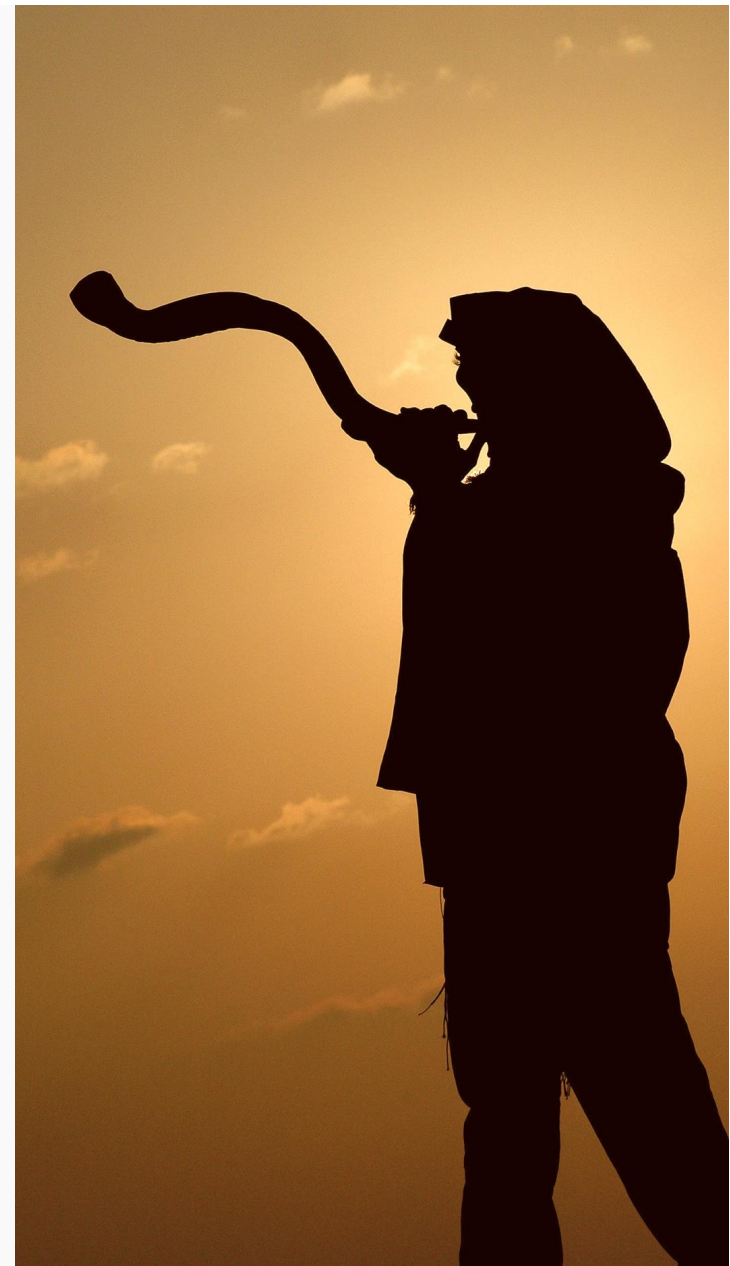
わたしは、あなたがたの上に見張りを立て、『**角笛の音に注意せよ***』と命じたのに、彼らは『**注意しない**』と言った。

それゆえ、諸国の民よ、聞け。会衆よ、知れ。彼らに何が起こるかを。

* 敵襲を告げる角笛

■ 裁きの警告は再三繰り返されてきた

➔ アッシリア捕囚以降も、イザヤ、ミカ、ハバクク、ゼパニヤ、そしてエレミヤ



第六連 企みの実 エレミヤ6:19

この国よ、聞け。見よ、わたしはこの民にわざわざいをもたらす。これは彼らの**企み***の実。彼らがわたしのことばに注意を払わず、わたしの律法を退けたからだ。

*“思い、目的、計画…”

■イスラエルの背きは、一過性ではない。
確信犯的、計画的、言い逃れの余地がない。

➡主の裁きは、
言い逃れの余地なく下される。



第六連 偽りのささげもの エレミヤ6:20

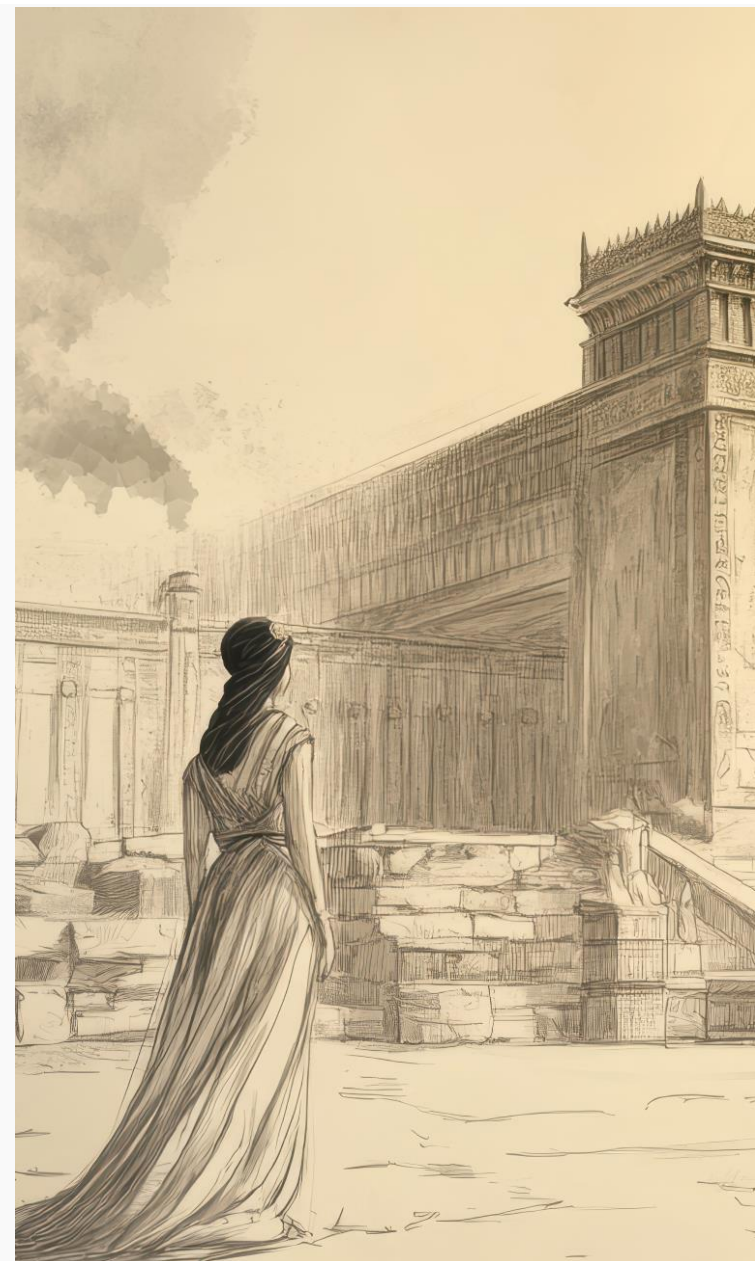
「いったい何のために、**シェバ***から乳香が、また、遠い国から香りの良い菖蒲がわたしのところに来るのか。あなたがたの全焼のささげ物は受け入れられず、あなたがたのいけにえはわたしには心地よくない。」

*現在のエチオピアorイエメン

…シェバの女王は、ソロモンを訪問

■偽りの繁栄は、むなしただけ、

形ばかりのささげ物は、主の目には無意味。

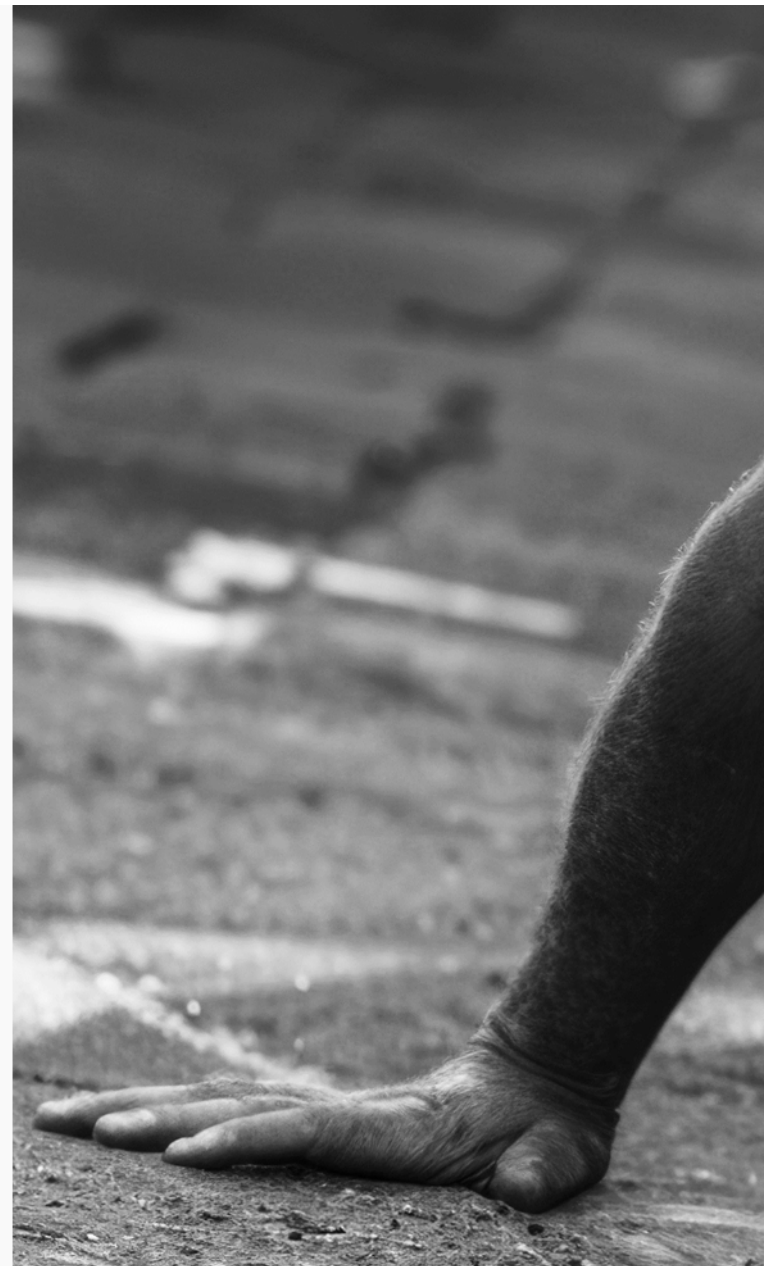


第七連 主によるつまずき エレミヤ6:21

それゆえ、【主】はこう言われる。「見よ、わたしはこの民につまずき*を与える。父も子も、ともにこれにつまずき、隣人も友人も滅びる。」

*バビロン捕囚

■主には、民につまずきを与える権限がある。



第七連 バビロニア エレミヤ6:22～23

【主】はこう言われる。「見よ、一つの民*が北の地から来る。大きな国*が地の果てから奮い立つ。

彼らは弓と投げ槍を固く握り、残忍で、あわれみがない。その声は海*のようにとどろく。娘シオンよ。彼らは馬にまたがり、あなたに向かい、一団となって陣を敷いている。」

*北の帝国・バビロニア

*“異邦人世界”、“神の裁き”を象徴



第七連 敵の恐怖 エレミヤ6:24～25

私たちは、そのうわさを聞いて気力を失い、苦しみが私たちをとらえた。産婦のような激痛が。畑に出るな。道を歩くな。敵の剣がそこにあり、恐怖が取り囲んでいるからだ。

- バビロニアの侵略を先取りし、幻を見て、イスラエルの苦しみを味わわされるエレミヤ。



第七連 荒らす者 エレミヤ6:26

娘である私の民よ。粗布を身にまとい、
灰の中を転げ回れ。ひとり子を失ったよう
に*喪に服し、苦しみ嘆け。荒らす者*が突
然、私たちに襲いかかるからだ。

*これ以上ない悲しみ

*神の裁きをもたらす者 …バビロニア

…9/16回は、エレミヤ書

究極の“荒らす憎むべき者” = 反キリスト

マタイ24:15



第八連 エレミヤの使命 エレミヤ6:27

「わたしはあなたを、わたしの民の中で、**試す者***とし、**城壁のある町***とした。彼らの行いを知り、これを試せ。」

*バホーン …このみ

- エレミヤは、イスラエルを試す者*、
イスラエルの**霊的な城壁**、**信仰の守り手***
➔ 厳しい裁きをイスラエルに宣告



第九連 捨てられた民 エレミヤ6:28~30

彼らはみな、頑なな反逆者、中傷して歩き回る者。青銅や鉄。彼らはみな、墮落した者たちだ。

吹子で激しく吹いて、鉛を火で溶かす。鉛は溶けた。溶けたが、無駄だった。悪いものは除かれなかった。

彼らは捨てられた銀と呼ばれる。【主】が彼らを捨てられたのだ。

- 精錬できない不純な金属が捨てられるように、罪を悔い改めなかったイスラエルは裁かれる





Ⅲ. まとめと適用

絶望を経て至る 主の救いと平安

神殿の丘とキデロンの谷

全く正当な神の怒り

- 絶句するしかない、
神の怒りの激しさ、容赦ない裁きの厳しさ。
- これが、神が**聖**であるということ。
一点の曇りもない神は、かすかな罪とも同居しえない。
- 神の怒りは、完全で、正しく、反駁の余地は一切ない。

言い訳の余地のないイスラエルの罪と咎

- 混沌極まる士師時代を経て、主が王を立てられた。
都と神殿を与えられ、繁栄を極めながら、偶像礼拝に。
- 度重なる神の警告を無視し、罪を重ね、預言者を迫害した。
…エホヤダ、エリヤ、エリシャ、オバデヤ、ヨエル、アモス、
イザヤ、ミカ、etc
- 北王国の滅びを目撃しながら、マナセ王は罪を極めた。
国中に偶像を立て、主の神殿を汚し、預言者たちを殺した。

神の警告へのイスラエルの返答

- 裁きの宣告を無視。「平安だ」と言う偽預言者を受け入れた。
- 主の示された幸いの道を『私たちは歩まない』と言った。
主の警告に対して『注意しない』と言った。
- 分かっているながら拒み通した、確信犯であるイスラエルに、
主は、彼らの「企みの実」、報いとして災いをもたらされる。

分かっているながら拒み通した、イスラエルの罪は重い

エレミヤに託された主の布告

「見よ、わたしはこの民につまずきを与える。父も子も、ともにこれにつまずき、隣人も友人も滅びる。エレミヤ6:21」

「わたしはあなたを、わたしの民の中で、試す者とし、城壁のある町とした。彼らの行いを知り、これを試せ。エレミヤ6:27」

■エレミヤに託されたのは、民に、避けがたい滅びを告げること。

甘んじて、主の裁きを受けよ!!

私たちの希望はどこにある？

- 今の時代は、世の終わりの裁きを間近に控えている。
大艱難は、イスラエルと世界への究極的な裁き。
- 大艱難は確定されたこと。
イスラエルと世界の運命は、誰にも変えられない。
- ただし、個々人には、救いの道が残されている。
唯一の希望は、主イエス・キリストを信じること。

今一度、主イエス・キリストの救いの意味を受け取ろう

- 神の民、イスラエルですら、確信犯的な罪に陥った。
→ 甘んじて裁きを受けるしかない。それが人間の現実
- 私たち人間は皆、神の一方的な恵みに生かされている。
主は、恵みの約束通り、愛する御子を人として地上に送られた。
- 主イエス・キリストは、私のどうしようもない罪のため、十字架で死なれ、葬られ、死を打ち破って復活された。

■ 主イエスの命令 マタイ5:44,48

「自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。…。あなたがたの天の父が**完全**であるように、完全でありなさい。」

■ 完全になるために ローマ12:1,2

「あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。…この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、**完全**であるのかを見分けるようになります。」

救いとは、完全になること。神の助けなしには絶対に不可能

★ 絶望を経て、ただ主に遣わされて、平安を得よう ★

- 「甘んじて裁きを受けよ」と告げる、絶望的なエレミヤの使命。
今の時代に迫るのは、究極的な神の裁き、大艱難だ。
- 世を直視すれば、絶望するほかない、人の背きの現実がある。
打ち砕かれ、無力さを思い知らされつつ、なお福音を告げよう。
主イエスの十字架の恵み。その重さを味わい知らされる。
- 救われ、遣わされる。すべては、主の恵みでしかない。
ご計画を完遂される主に、ただすがって今日に押し出されよう。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

さば えいえん ほろ わたし しゅ すく
裁かれ、永遠に滅ぶしかなかった私を、主が救ってくださいました。

みこ とうと ぎせい わたし つみ かんぜん えいえん あがな
御子の尊い犠牲のゆえに、私の罪は完全に、永遠に贖われました。

ひと つみ ぜつぼう きぼう しゅ
人の罪には絶望するしかありません。希望はただ、主にあります。

しゅ みたま み み よろこ つか
主の御霊でこの身を満たし、喜びをもって遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」